



事例

「エコアクション21」の実践について

1. 主な取組みと効果について

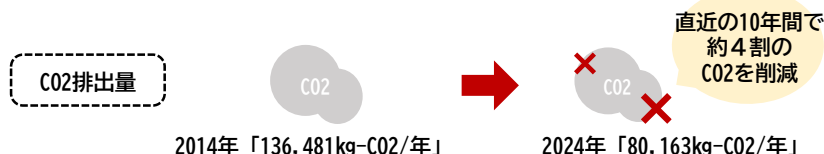
ジェットヒーター使用箇所にカーテンの設置



1989年製の空調を高効率空調機器に更新



- ・主な取組み内容：① エコアクション21の継続的な取組み（2009年～）
※ 事業活動にともなう環境負荷の把握と環境への取組み
- ② 高効率空調機器への更新（R6=1台）
- ・光熱費の削減量：② 年間消費電力量5,852kWh→2,855kWh、約85,000円の削減
- ・省エネ・省CO2効果 ※ エコアクション21の環境経営レポートより



事業者名：株式会社太丸モータース



- ・業 種：自動車販売及び整備 等
- ・住 所：長井市屋城町6-18
- ・電 話：0238-84-3131
- ・従業員数：17名
- ・事業概要：自動車の販売及び整備 等



2. 取組みの経緯や詳細について

H20.9

① 知る

取組みを始めた「きっかけ」

- ・全日本ロータス同友会が2007年に「ロータス環境宣言」を行ったことをきっかけに、2008年に環境経営方針を策定し、2009年に「エコアクション21」の登録事業者となった。

H20.9

② 測る

現状の「把握」

- ・環境管理責任者を置き、CO2排出量、廃棄物排出量、水使用量等を把握し、削減のための取組みを開始した。
- ・事業所としてのエコ活動と働きやすさの両立が重要である。

R7.2
(直近日)

③ 取組む

取組みによる「メリット」

- ・省エネかつ従業員の作業負荷・時間を改善する工場づくりにより、エコ活動と働きやすさの両立に繋がっている。
- ・直近では、市の地域脱炭素プラン推進事業費補助金を活用し、高効率空調機器へ更新した。電気料金の削減量から3年でイニシャルコストを回収でき、快適な環境から接客の向上と併せて、従業員のモチベーションも向上した。

事業者の声：株式会社太丸モータース 取締役専務 横澤 浩 様



全日本ロータス同友会が2007年に「ロータス環境宣言」を行ったことをきっかけに、エコアクション21の認証登録を受けました。

エコ活動が「けちけち運動」に思えることもありましたが、スタッフから改善提案が出され、良い結果が出るとモチベーションが上がる、そんなことの繰り返しでした。

今まで、16年にわたり取り組んできましたが、スタッフの作業負荷を減らし、拘束時間を短縮する事が「最大のエコ」につながるのではないかと、今では思っています。